

2017年から2020年に当院に受診し
トルリシティ[®]または何らかの薬剤による治療を受けた
2型糖尿病担癌患者様へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：遠隔転移を伴う2型糖尿病担癌患者のデュラグルチドの有効性と安全性の検討

研究期間：研究機関の長の許可日～2021年6月末

研究責任者：山梨大学医学部内科学講座第3教室 医員 前島優

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

糖尿病治療薬のひとつであるGLP-1受容体作動薬（成分名：デュラグルチド、商品名：トルリシティ[®]）が、遠隔転移を伴う2型糖尿病担癌患者での有効性及び安全性を調査します。

デュラグルチドは糖尿病の治療に広く使用されている薬剤ですが、担癌患者での有効性及び安全性を検証するために、これまでの診療で得られている血液検査やその他の診療データを集計するものです。

【研究の方法について】

2017年4月から2020年5月に遠隔転移を伴う癌の診断となりトルリシティ[®]を使用した2型糖尿病患者を対象に患者の診療録から情報を収集、解析しHbA1cの推移に関して明らかにするものです。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

2017年4月から2020年5月に当院に受診し遠隔転移を伴う癌の診断となり、2型糖尿病に伴う血糖値の上昇に対してトルリシティ[®]による治療を受けた方。年齢は問いません。

〈利用する情報・項目〉

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査）

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する試料・情報の利用者は、本学医学部内科学講座第3教室の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、

研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部附属病院 第3内科（糖尿病・内分泌、腎臓内科、膠原病・リウマチ内科）

医員 前島 優

myuu@yamanashi.ac.jp

FAX : 055-273-9685